

現行保険証の存続・被爆体験者医療の改善など 県関係議員に医療者の声を届ける

保団連 保険証を残せ 178万筆の署名を提出

国会は現行保険証の存続賛成議員が多数に

現場からの声がかぎ—今が最大のチャンス

保団連は11月28日、現行の保険証の存続のほか、診療報酬の不合理正正を求め、国会議員を厚労省に要請しました。

長崎からは鶴岡事務所

西岡秀子衆議院議員(国民)と懇談

と理解を示しました。

「比例での」

秋野公造参議院議員(公明)に要請

長崎大学出身の医師で

今国会で延期法を提出

長が上京し、この間、協会が取り組んだマイナ保険証、オンライン資格確認、トラブール事例調査結果や寄せられた国民の声、診療報酬改定、アンケート結果を携えて、県選出国会議員に要請しました。また、11月に取り組んだ生活習慣病管理科(弱者に厳しい制度だ)

と理解を示しました。次に、西岡議員の働きかけで首相と被爆体験者との面談が実現し、それを機に流れが変わった。一方、12月実施の新制度は申請時に診療書交付が必要となり、費用は自己負担が生じている。あらたな問題が生じている。改善に向けて尽力をお願いしたい」と求め、(被爆者と認められず悔しい。新たな負担を強いることは問

た働きかけを約束しました。山田勝彦衆議院議員(公明)と懇談

秋野公造参議院議員(公明)に要請

長崎大学出身の医師で

今国会で延期法を提出



西岡秀子衆議院議員



山田勝彦衆議院議員



秋野公造参議院議員

総選挙で流れが変わった

保険証の存続を求める署名提出集会

全国から3000人 議員も多数来場

国会内で「保険証の存続を求める署名提出集会」が行われ、衆参両院議員23人が賛同に駆けつけ、WEHを含め、3000人が参加しました。議員からは「衆議院は勢力図が変わった。今こ



全国から寄せられた1,774,741筆の署名

発言が相次ぎ、国会での流れが変わってきたことが感じ取れました。今国会で延期法を提出した立憲民主連の議員からは「12月2日を迎え、あらためて『保険証復活法案(仮称)』を提出する。国民の声として、成立に向けて全力で取り組む」との決意が述べられたほか、障害者団体からは「マイナ保険証の申請や管理で苦慮する現状が報告され、現行の保険証を残してほしい」との強い要望が出されました。